

エコアクション21 環境経営レポート

(対象期間：2023年4月1日～2024年3月31日)

クリーンな技術でエネルギーの
「今」をメンテナンスします。
人が安心して暮らせる
より快適な未来へ……。



 **六ヶ所エンジニアリング株式会社**

作成日：2024年9月17日

第12版



目次

| | |
|-------------------------|-----|
| 1. 環境経営方針 | 1 |
| 2. 組織概要 | 2 |
| 3. エコアクション21推進体制 | 3 |
| 4. 環境負荷の実績 | 4 |
| 5. 環境目標とその実績 | 5、6 |
| 6. 環境経営計画、取組内容とその評価 | 7 |
| 7. 環境経営計画、取組結果と次年度の取組内容 | 8、9 |
| 8. 環境活動、教育・訓練等の状況 | 10 |
| 9. 環境関連法規等の遵守状況の確認 | 11 |
| 10. 代表者による全体評価と見直しの結果 | 11 |

1. 環境経営方針



六ヶ所エンジニアリング株式会社は、地球環境の保全が重要課題と認識し、環境汚染の予防に努め、コスト削減、働きやすい企業環境整備のためのチャンスとして、全社一丸となり積極的に環境保全活動に取り組みます。

企業は社会の公器であるという基本理念のもとに、地域社会の一員として社会と共生し貢献するため、継続的に改善に努め、事業活動における環境負荷の低減を図ります。

<行動計画>

- ① 二酸化炭素排出量の削減
電力・化石燃料の消費に伴う二酸化炭素の排出量削減を推進します。
- ② 廃棄物排出量の削減
廃棄物の3R（減量、再使用、再利用）を推進します。
- ③ 資源等使用量の削減
コピー用紙の使用量削減を推進します。
- ④ 水資源使用量の節減
水の効率的な利活用、日常的な節水に努めます。
- ⑤ 化学物質の低減
化学物質の適切な管理に努めます。
- ⑥ 事務用品のグリーン購入
グリーン商品、エコマーク商品の積極的な購入、利用を推進します。
- ⑦ 環境活動への積極的な参加を推進します。
- ⑧ 環境関連法規制や当社が約束したことを順守します。

制定日： 2023年4月1日

六ヶ所エンジニアリング株式会社
代表取締役 附田 妙子

2. 組織の概要

(1) 名称及び代表者名

六ヶ所エンジニアリング株式会社

代表取締役 附田 妙子

(2) 所在地

管理本部・資材置き場：青森県上北郡六ヶ所村大字尾駸字上尾駸22-258

三沢事業所：青森県三沢市南町4丁目31-3455

石油プラント事業部：青森県上北郡六ヶ所村大字尾駸二又525-2

(3) 環境管理責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者：蓬畑 勝彦 TEL：0175-73-2277

事務局・担当者：田中 拓真 FAX：0175-73-2444

E-mail：takuma_tanaka@r-e-c.co.jp

URL：<http://www.r-e-c.co.jp/index.html>

(4) 事業活動の内容

建設業および機械設備メンテナンス

特定建設業許可：土木工事業、建築工事業、大工工事業、左官工事業、とび・土工工事業、石工事業、屋根工事業、電気工事業、管工事業、タイル・れんが・ブロック工事業、鋼構造物工事業、鉄筋工事業、ほ装工事業、しゅんせつ工事業、板金工事業、ガラス工事業塗装工事業、防水工事業、内装仕上工事業、熱絶縁工事業、建具工事業、水道施設工事業、解体工事業

一般建設業許可：機械器具設置工事業、消防設備工事業

産業廃棄物許可：青森県知事許可（収集・運搬）許可番号 00052087

(5) 事業規模

設立年月日：昭和60年1月28日 従業員数：207名（2024年3月末現在）

資本金：2,000万円 売り上げ実績：2023年度 1,959百万円

(6) 対象範囲（認証・登録範囲）

本社、三沢支店、建設現場のサイト認証となる。

但し、原子力事業部及び石油プラント事業部に関しては客先の敷地内に作業スペースの提供を受けて常駐しており、エネルギー・水使用や廃棄物の処理に関しても客先の基準に従っているためEA21の活動範囲からは除外する。

今年度全従業員の内除外する対象はそれぞれ115名と35名（計150名）である。

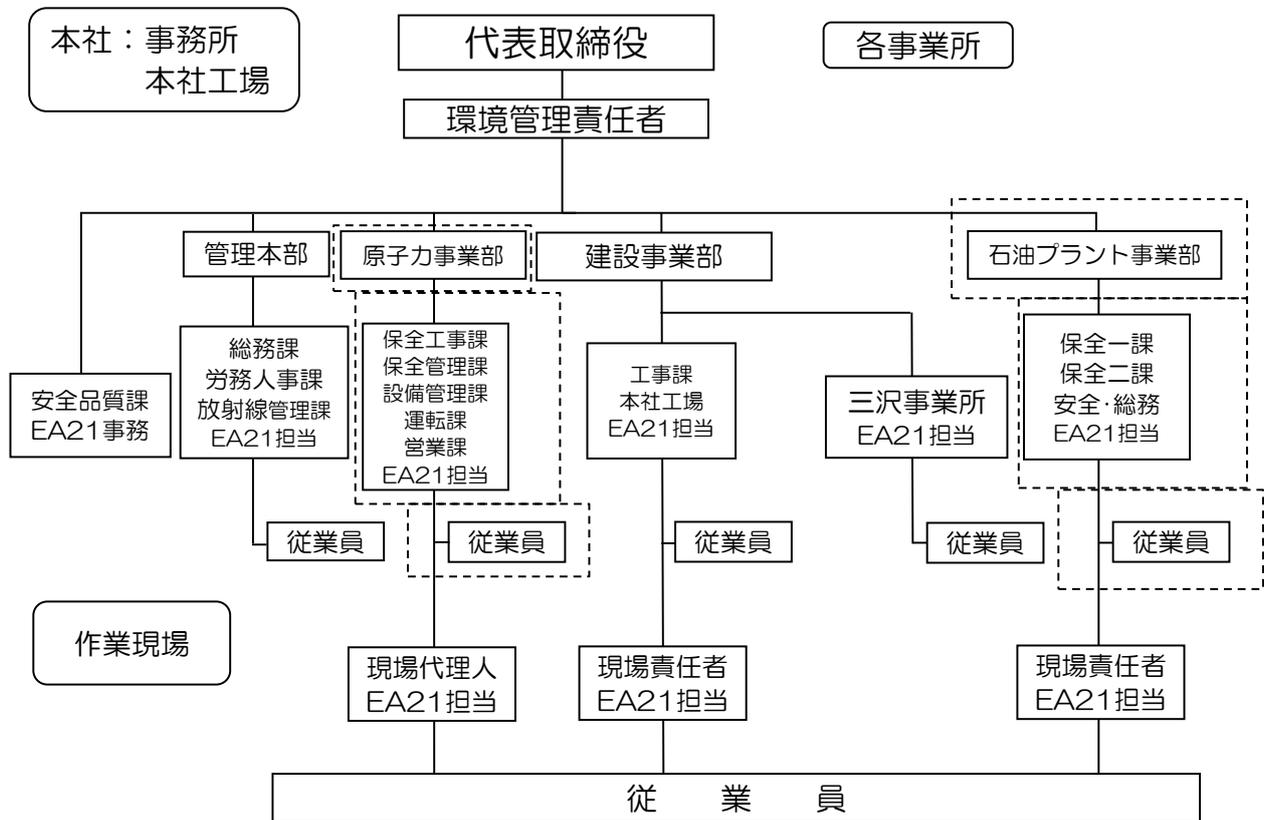
(7) 環境活動レポートの対象期間

2023年4月1日 ～ 2024年3月31日 の12ヵ月間

3. エコアクション21推進体制

(1) EA21推進組織図

対象外組織



(2) 役割・権限

| 役割 | 権限 |
|---------|--|
| 代表取締役 | ① エコアクション21に関する統括責任 ② 環境管理責任者の任命 ③ エコアクション21の実施に必要な人経営諸資源の準備 ④ 環境方針の策定および課題とチャンスを含む目標、計画作成指示 ⑤ 環境方針の見直し、およびシステム全体の評価と見直し |
| 環境管理責任者 | ① エコアクション21の構築、実施、維持、改善 ② 環境目標、環境活動計画の策定、見直し ③ 環境関連の対外的窓口及び緊急事態発生時の指揮 ④ 代表者評価のインプットとして実施状況を代表者へ報告する。 ⑤ 全従業員に環境目標及びシステムでの役割を周知する。 ⑥ 各種問題、事象に対する、是正処置の推進。 |
| EA21事務局 | ① 事務局として、環境管理責任者を補佐する。 ② エコアクション21に関する実務全般を所管する。 |
| EA21担当 | ① 環境活動計画に基づき従業員を指導する。 ② 実績を記録して報告する。 |
| 従業員 | ① 役割に対して積極的な活動をする。 |

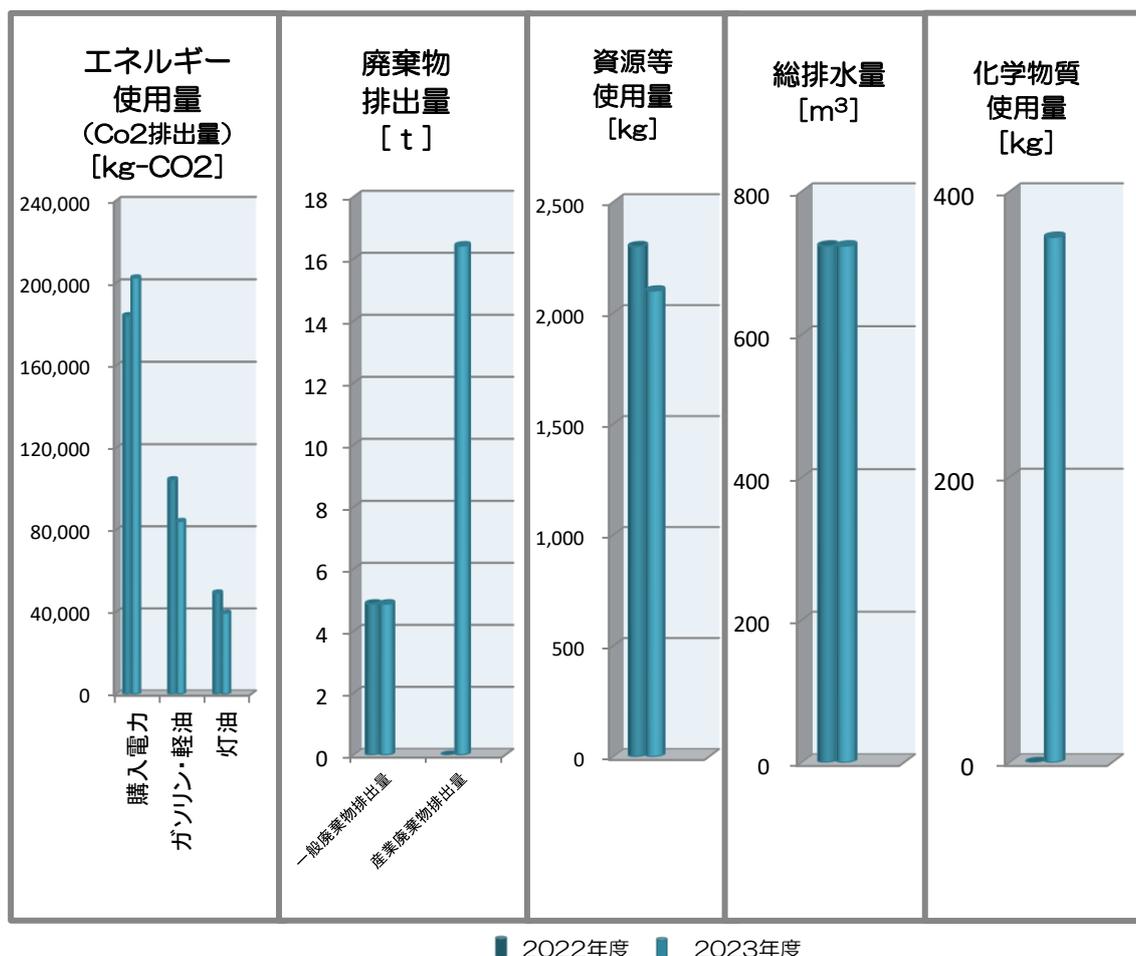
4. 環境負荷の実績



主な環境負荷の実績

| 項目 | | 単位 | 2022年度 (基準年) | 2023年度 |
|----------|----------|----------------|-----------------|---------|
| 二酸化炭素排出量 | 購入電力 | kg-CO2 | 184,322 | 202,665 |
| | ガソリン・軽油 | kg-CO2 | 104,669 | 84,330 |
| | 灯油 | kg-CO2 | 49,494 | 39,650 |
| 廃棄物排出量 | 一般廃棄物排出量 | t | 4.88 | 4.88 |
| | 産業廃棄物排出量 | t | - | 16.43 |
| 資源等使用量 | コピー用紙使用量 | kg | 2,300 | 2,100 |
| 水資源使用量 | | m ³ | 724 | 724 |
| 化学物質使用量 | | kg | - | 368 |

※購入電力の排出係数は「0.496(kg-CO2/kWh)」を使用。平成29年 東北電力㈱
(電気事業者別排出係数-平成29年度実績-H30. 12. 27 環境省・経済産業省公表)



5. 環境目標とその実績（その1）



5-1 環境目標の設定

（1）エネルギー使用量の削減（二酸化炭素排出量の削減）

| 環境目標項目 | 単位 | 基準値 (2022年度) | 2023年度 | 2024年度 | 2025年度 | 中長期目標 3年後 |
|---------|--------|-----------------|---------|---------|---------|--------------|
| 購入電力 | % | - | -0.5% | -1.0% | -1.0% | -1.0% |
| | kg-CO2 | 184,322 | 183,400 | 182,479 | 182,479 | 182,479 |
| ガソリン・軽油 | % | - | -0.5% | -1.0% | -1.0% | -1.0% |
| | kg-CO2 | 104,669 | 104,146 | 103,622 | 103,622 | 103,622 |
| 灯油 | % | - | -0.5% | -1.0% | -1.0% | -1.0% |
| | kg-CO2 | 49,494 | 49,247 | 48,999 | 48,999 | 48,999 |

※購入電力の排出係数は「0.496(kg-CO2/kWh)」を使用。平成29年 東北電力㈱
(電気事業者別排出係数-平成29年度実績-H30.12.27 環境省・経済産業省公表)

（2）廃棄物排出量の削減

| 環境目標項目 | 単位 | 基準値 (2022年度) | 2023年度 | 2024年度 | 2025年度 | 中長期目標 3年後 |
|----------|----|-----------------|---|--------|--------|--------------|
| 一般廃棄物の削減 | % | - | -0.5% | -1.0% | -1% | -1% |
| | t | 4.88 | 4.86 | 4.83 | 4.83 | 4.83 |
| 産業廃棄物の削減 | % | - | 工事施工現場の状況により大きく増減するため、産廃の再資源化、マニユフェストによる適正処理を行動目標とする。 | | | |
| | t | - | | | | |

（3）資源等使用量の削減

| 環境目標項目 | 単位 | 基準値 (2022年度) | 2023年度 | 2024年度 | 2025年度 | 中長期目標 3年後 |
|-----------------|----|-----------------|--------|--------|--------|--------------|
| コピー用紙 使用量の削減 | % | - | -0.5% | -1.0% | -1.0% | -1.0% |
| | kg | 2,100 | 2,090 | 2,079 | 2,079 | 2,079 |

（4）水資源使用量の節減

| 環境目標項目 | 単位 | 基準値 (2022年度) | 2023年度 | 2024年度 | 2025年度 | 中長期目標 3年後 |
|--------|----------------|-----------------|--------|--------|--------|--------------|
| 節水 | % | - | -0.5% | -1.0% | -1.0% | -1.0% |
| | m ³ | 724 | 721 | 717 | 717 | 717 |

（5）化学物質の適正管理

| 環境目標項目 | 単位 | 基準値 (2022年度) | 2023年度 | 2024年度 | 2025年度 | 中長期目標 3年後 |
|------------|----|-----------------|---|--------|--------|--------------|
| 環境配慮品の購入推進 | % | - | 顧客支給、または顧客指定品が多いため、化学物質を適正に管理し、定期的に確認する事を行動目標とする。 | | | |
| | % | - | | | | |

（6）環境活動への参加推進

| 環境目標項目 | 単位 | 基準値 (2022年度) | 2023年度 | 2024年度 | 2025年度 | 中長期目標 3年後 |
|------------|----|-----------------|--------|--------|--------|--------------|
| 環境活動への参加推進 | 回 | | +1回 | +2回 | +2回 | +2回 |
| | 回 | 3回 | 4回 | 5回 | 6回 | 6回 |

5. 環境目標とその実績（その2）

5-2 環境目標とその実績、達成状況

(1) エネルギー使用量の削減（二酸化炭素排出量の削減）

○：達成 ×：未達成

| 環境目標項目 | 基準値 (2022年度) | 対象期間（2023年度） | | | | | —備考— (状況に関する原因) |
|---------|-------------------|--------------|-------------------|-------------------|--------|----|--------------------|
| | | 増減 目標率 | 目標値 | 実績値 | 増減実績 | 状況 | |
| 購入電力 | 184,322 kg-CO2 | -0.5% | 183,400 kg-CO2 | 202,655 kg-CO2 | +10.5% | × | 冬季間の第三工場側空調が起因した。 |
| ガソリン・軽油 | 104,669 kg-CO2 | -0.5% | 104,169 kg-CO2 | 84,330 kg-CO2 | -24.0% | ○ | 超過分は遠方業務増加に起因した。 |
| 灯油 | 49,494 kg-CO2 | -0.5% | 49,247 kg-CO2 | 39,650 kg-CO2 | -24.2% | ○ | 概ね削減傾向。 |

※購入電力の排出係数は「0.496(kg-CO2/kWh)」を使用。平成29年 東北電力㈱
(電気事業者別排出係数—平成29年度実績—H30. 12. 27 環境省・経済産業省公表)

(2) 廃棄物排出量の削減

| 環境目標項目 | 基準値 (2022年度) | 対象期間（2023年度） | | | | | —備考— (状況に関する原因) |
|----------|-----------------|--------------|--------|--------|--------|----|--------------------|
| | | 増減 目標率 | 目標値 | 実績値 | 増減実績 | 状況 | |
| 一般廃棄物の削減 | 4.88 t | -0.5% | 4.86 t | 4.36 t | -11.5% | ○ | 廃棄物削減が定着している。 |

(3) 資源等使用量の削減

| 環境目標項目 | 基準値 (2022年度) | 対象期間（2023年度） | | | | | —備考— (状況に関する原因) |
|-------------|-----------------|--------------|---------|---------|--------|----|--------------------------|
| | | 増減 目標率 | 目標値 | 実績値 | 増減実績 | 状況 | |
| コピー用紙使用量の削減 | 2,100kg | -0.5% | 2,090kg | 1,580kg | -32.3% | ○ | 会議、教育資料の電子化等で使用量が減少している。 |

(4) 水資源使用量の節減

| 環境目標項目 | 基準値 (2022年度) | 対象期間（2023年度） | | | | | —備考— (状況に関する原因) |
|--------|-------------------|--------------|-------|---------------------|-------|----|--------------------|
| | | 増減 目標率 | 目標値 | 実績値 | 増減実績 | 状況 | |
| 節水 | 724m ³ | -0.5% | 720.0 | 750.0m ³ | +7.6% | × | 配管関係の業務による水使用増。 |

(5) 化学物質の適正管理

| 環境目標項目 | 基準値 (2022年度) | 対象期間（2023年度） | | | | | —備考— (状況に関する原因) |
|------------|-----------------|--------------|-----|-----|------|----|----------------------------------|
| | | 増減 目標率 | 目標値 | 実績値 | 増減実績 | 状況 | |
| 環境配慮品の比率増加 | - | - | - | - | - | ○ | 客先指定品が多いため、行動目標としているが、適正管理できている。 |

(6) 環境活動への参加推進

| 環境目標項目 | 基準値 (2022年度) | 対象期間（2023年度） | | | | | —備考— (状況に関する原因) |
|------------|-----------------|--------------|-----|-----|------|----|------------------------|
| | | 増減 目標率 | 目標値 | 実績値 | 増減実績 | 状況 | |
| 環境活動への参加推進 | 3回 | / | 4回 | 5回 | 1回 | - | コロナ禍の影響で予定した活動が少なくなった。 |

6. 環境経営計画、取組内容とその評価



環境活動の計画、取組内容とその評価

◎：非常によくできた ○：概ねできた △：ますます ×：あまりできなかった

| 環境目標項目 | 対象期間の取組内容 | 評価 |
|--------------------|----------------------------------|----|
| 二酸化炭素排出量の削減 | | |
| 購入電力 | ① 冷暖房を必要な時間、区域に設定して使用する | ○ |
| | ② 冷暖房の設定温度の適温化 | |
| | ③ PCの省電力設定、不要時の電源OFF | |
| | ④ 昼休み、残業時等の不必要な照明、機器の電源OFF | |
| | ⑤ 電気設備の使用量把握、経年変化の揭示 | |
| ガソリン・軽油 | ① 必要ない積載物品を積まない | ○ |
| | ② アイドリングストップの励行 | |
| | ③ 過剰な負荷を車両に掛けた運転をしない | |
| | ④ 効率的な移動の推進、乗合の徹底で使用頻度減少 | |
| | ⑤ 車両燃費データを活用して使用する車両の適切化 | |
| | ⑥ 自転車の活用 | |
| 灯油 | ① 暖房を必要な時間、区域に設定して使用する | ○ |
| | ② 冬季の使用開始前に、現場事務所の指導及び、使用機器の省エネ化 | |
| 廃棄物排出量の削減 | | |
| 一般廃棄物の削減 | ① 排出量の計量、集計による意識の向上 | ○ |
| | ② 廃棄物置き場の整備 | |
| | ③ 用紙の両面、裏面使用の推進 | |
| 産業廃棄物の削減 | ① マニフェストをもとに適正に管理する | - |
| | ② 分別を徹底し、再資源化を図る | |
| 資源等使用量の削減 | | |
| コピー用紙使用量の削減 | ① 両面コピー及び裏面使用の徹底 | ○ |
| | ② 必要以外はペーパーレス、電子化に取り組む | |
| | ③ 会議用資料や事務手続き書類の簡素化 | |
| | ④ 印刷物は必要最小限にし、残数を出さない | |
| 水資源使用量の削減 | | |
| 節水 | ① 社有車の洗車を必要最小限にし、節水を励行する | △ |
| | ② 日常的な節水 | |
| 化学物質の低減 | | |
| 化学物質の管理 | ① Fフォースター製品の購入推進 | △ |
| | ② 漏えい等のないよう適切に管理する | |
| 環境活動の参加推進 | | |
| 環境活動への参加推進 | ① 地域清掃活動への参加 | ○ |

7. 環境経営計画の取組結果と次年度の取組内容(その1)



環境活動の取組結果と、次年度の取組内容

| 環境目標項目 | 取組結果 | 次年度の取組内容 |
|--------------------|---|--|
| 二酸化炭素排出量の削減 | | |
| 購入電力 | 第3Q以降で目標超過したが第三工場の常時空調による影響が大きいと考察。 | ハード面においてはLED化など完了している部分が多いため、管理方法等を再度見直して効果的な対策を模索していく。 |
| ガソリン・軽油 | 今年度から新体制下による取組だったが、全体的に概ね目標通りに削減を進めることができた。と考察する。 | 社用車をエコカーなどといったハード面は中長期的な目線で検討が必要であることから、アイドリングストップやエコ運転など現状の取組を継続していく。 |
| 灯油 | 今年度も寒波等が影響した部分はあるが、エアコン等との併用により削減を進めることができた。 | 目標設定も妥当性があると思われるので、新たな削減課題がないか模索しながら進める。 |
| 廃棄物排出量の削減 | | |
| 一般廃棄物の削減 | 一般廃棄物の削減取組は全社的に習熟してきており、例年と対比しても極端に使用量の増減がなくいい成果を残した。 | 現状のブラッシュアップを検討しつつも、習熟した削減取組を継続することも重要であると考え、引き続き注視していく。 |
| 産業廃棄物の削減 | 工事等に影響する部分が大きいため、結果についての考察は除外した。 | - |
| 資源等使用量の削減 | | |
| コピー用紙使用量の削減 | 一般廃棄物と同様、ゴミ量の見える化などにより意識の定着がより浸透した結果と判断した。 | 一般廃棄物と同様に、取組の継続性に重きを置いて注視していく。 |
| 水資源使用量の削減 | | |
| 節水 | 配管業務における耐圧試験等で増加していると考察。 | 業務使用においては品質等にも影響することから、妥当性と包括して計画する。 |
| 化学物質の低減 | | |
| 化学物質の管理 | Fスター使用や、グリーン購入なども定着してきている結果と判断する。 | 化学物質においては状況に応じてFスター対象ではないものの使用等も必要であることから、現状を継続しつつ最大限環境に配慮した取組を進める。 |
| 環境活動の参加推進 | | |
| 環境活動への参加推進 | COVID-19の影響はほとんど考慮することなく、ほぼ例年通りの参加活動を行うことができた。と考察した。 | さらに活動の幅が広がると思われるので、イベントへのアンテナをはって参加検討を進めたい。 |

7. 環境経営計画の取組結果と次年度の取組内容(その2)



環境経営目標(2023年度～2025年度)

| 環境目標項目 | 削減率又は増加率 (%) | 基準年度 | 年度毎目標値 (基準年度に対する削減(増加)率) | | | 中長期の 目標 |
|--------------------|-------------------|---------|---|---------|---------|-----------------|
| | 単位 | 基準値 | 2023年度 | 2024年度 | 2025年度 | 2023～2025 年度 |
| 電力の削減 | 削減率(%) | 2022年度 | 0.50 | 1.00 | 1.00 | 1.00 |
| | kg-CO2 | 184,322 | 183,400 | 182,479 | 182,479 | 182,479 |
| 灯油の削減 | 削減率(%) | 2022年度 | 0.50 | 1.00 | 1.00 | 1.00 |
| | kg-CO2 | 49,494 | 49,247 | 48,999 | 48,999 | 48,999 |
| ガソリンの削減 | 削減率(%) | 2022年度 | 0.50 | 1.00 | 1.00 | 1.00 |
| | kg-CO2 | 15,599 | 15,521 | 15,443 | 15,443 | 15,443 |
| 軽油の削減 | 削減率(%) | 2022年度 | 0.50 | 1.00 | 1.00 | 1.00 |
| | kg-CO2 | 53,095 | 52,830 | 52,564 | 52,564 | 52,564 |
| ガソリンの削減 (工事現場用) | 削減率(%) | 2022年度 | 0.50 | 1.00 | 1.00 | 1.00 |
| | kg-CO2 | 1,532 | 1,524 | 1,517 | 1,517 | 1,517 |
| 軽油の削減 (工事現場用) | 削減率(%) | 2022年度 | 0.50 | 1.00 | 1.00 | 1.00 |
| | kg-CO2 | 34,443 | 34,271 | 34,099 | 34,099 | 34,099 |
| ごみの削減 | 削減率(%) | 2022年度 | 0.50 | 1.00 | 1.00 | 1.00 |
| | kg | 4.88 | 4.86 | 4.83 | 4.83 | 4.83 |
| 最終処分量の削減 | 削減率(%) | 2022年度 | 行動目標 ・マニフェストを使用して、適正に処理、管理し、定期的に確認する。 | | | 左に同じ |
| 再資源化率の増加 | 再資源化率 (%) | 2022年度 | * 主に設備工事が対象にため、難しいが再資源化に取り組む。 | | | |
| 節水 | 削減率(%) | 2022年度 | 0.50 | 1.00 | 1.00 | 1.00 |
| | m ³ | 724.0 | 720.4 | 716.8 | 716.8 | 716.8 |
| コピー用紙使用量の削減 | 削減率(%) | 2022年度 | 0.50 | 1.00 | 1.00 | 1.00 |
| | kg | 2,100 | 2,089.5 | 2,079.0 | 2,079.0 | 2,079.0 |
| 科学物質での環境配慮品の使用推進 | 増加率(%) 購入量比(%) | 2022年度 | 行動目標 ・化学物質を適正に管理し、定期的に確認する。(客先支給、または指定品が多いため適正に管理する) | | | 左に同じ |
| 環境配慮型施工等の推進 | 増加率(%) 件数 | 2022年度 | 行動目標 ・建設現場等において環境に配慮した施工や作業の推進に努める。 | | | 左に同じ |
| 清掃活動等の環境活動への参加推進 | 増加件数 | 2022年度 | 1 | 2 | 2 | 2 |
| | 件数 | 3 | 4 | 5 | 6 | 6 |

※購入電力の排出係数は「0.496(kg-CO2/kWh)」を使用。平成29年 東北電力㈱

8. 環境活動、教育・訓練等の状況



一 環境美化活動 一

■ 地域貢献 清掃活動の実施

2023.06.03 水辺サポーター清掃活動（六ヶ所村むつ小川原港 新納屋地区南防波堤）



■ 安全大会での健康に関する講話

2023.07.03 安全大会



■ 緊急事態への対応訓練実施

2023.12.2 消火訓練、救護訓練



9. 環境関連法規等の遵守状況の確認、評価



(1) 環境関連法規等の遵守状況

当社の事業活動に適用される建設リサイクル法等の環境関連法規の遵守状況をチェックしたところ、違反はありませんでした。

(2) 違反、訴訟等の有無

過去3年間、関係当局からの違反等の指摘、住民等からの苦情、訴訟等について問題はありませんでした。

10. 代表者による全体評価と見直しの結果

施行期間の全体評価と見直し

| コメント | |
|------|--|
| 全体評価 | <p>2023年度受注実績は目標達成している中で、削減目標値を達成している項目が8項目中6取組あったので、概ねよい結果となった。</p> <p>一般廃棄物については削減が定着していることもあり、順調に減少しているため、引き続き取組をお願いしたい。</p> <p>ガソリン・軽油および灯油についても順調に削減できているが、今後も車両や設備の更新の際には省エネ基準適合品や環境適合品を積極的に選定してほしい。</p> <p>コピー用紙も電子化が進み、順調に減少している。</p> <p>化学物質については客先指定が多いが、法令に則って適性管理されたい。</p> <p>環境活動についても、目標値を上回る活動ができている。</p> <p>また、目標未達だった電力、水資源については、工事量や工場稼働率が増えてきていることが理由であるが、目標値の設定および稼働率との関連性をしっかり管理し評価し、またより一層節約意識を高め、削減に向けて取り組んでいってほしい。</p> |

| 項目 | 内容 |
|--------------------|---|
| 各項目の評価 | |
| ①環境経営計画の実施状況 | 一般廃棄物、二酸化炭素のうちのガソリン軽油灯油、資源等使用量の削減、化学物質の管理は、環境活動への参加については良好であるが、電力と節水は工事量の増加や工場稼働率の上昇により目標値をクリアできなかった。 |
| ②環境経営目標の達成状況 | 達成項目：ガソリン軽油、一般廃棄物削減、コピー用紙削減等6項目 未達成項目：電力、水資源の2項目 工事量の増加および工場稼働率の上昇により電気水の使用量が増加。 適正な目標設定で検討評価する。 |
| ③環境関連法の遵守状況 | 環境関連法の遵守状況は、チェックシートで確認し良好。 |
| ④外部からの環境に関する苦情・要望等 | 外部からの環境に関する苦情、及び内部からの環境に関する苦情はなかった。客先または地域団体からの要請により積極的に環境活動へ参加している。 |

| 項目 | 変更の有無 | 内容 |
|-------------------|-------|------|
| 見直し項目 | | |
| ①環境経営方針 | 無し | 変更なし |
| ②環境経営目標及び環境経営計画状況 | 無し | 変更なし |
| ③実施体制など | 無し | 変更なし |
| ④その他 | 無し | 特になし |